



学校法人純美禮学園滋賀短期大学附属幼稚園 〒520-0803 大津市竜が丘 24-3 令和7年2月21日発行

## 3月の行事予定

日	曜	園行事	その他	給食	すみれ	2歳児クラス
1	土	附属高校卒業式				
2	日					
3	月	身体測定(長)	絵本クラブ(長)・安全点検	○	○	
4	火	身体測定(少)		○	○	ぺんぎん
5	水	身体測定(中)	絵本クラブ(少)		○	
6	木	3月誕生会		○	○	ひよこ
7	金	お別れ会・歯の日・制服販売日		○	○	
8	土					
9	日					
10	月			○	○	
11	火	絵本クラブ(中)		○	○	ぺんぎん
12	水				○	
13	木			○	○	ひよこ
14	金	短大卒業式	午前保育			
15	土	第44回卒園式				
16	日					
17	月	一日保育(~19日)	安全点検日	○	○	
18	火			○	○	
19	水				○	
20	木	春分の日				
21	金	午前保育(~24日)				
22	土					
23	日					
24	月	第3学期終業式				
25	火	春季休業開始(~4/10)				
26	水					
27	木					
28	金					
29	土					
30	日					
31	月					



おにがきた!!



交通安全  
カンガルー教室

### 3月の給食費とすみれ利用料について

年長の3月分の給食費及びすみれ利用料は、3/25(火)に所定の口座より引き落としさせていただきます。

年中・年少につきましては、通常通り翌月4月の園費等引き落としと合わせて引き落としさせていただきます。

### 裏門鍵の返却のお願い

貸出している鍵を年度末に一旦回収します。新年度、必要な方は4月にお申し出ください。

【返却日】年長…15日

年少・年中…24日

### お知らせ

滋賀短期大学附属幼稚園では、令和7年度から満3歳クラスの保育を開始することとなりました。入園希望の方は満3歳のお誕生日を迎えられた翌月から入園が可能となります。

詳しくは3月中旬HPにUP予定です。

### 今月のねらい

年長・卒園に向けて1日1日を大切に過ごす。

- ・友達や教師との繋がりを感じながら、関わって過ごすことを存分に楽しむ。

年中・年長になることへの期待を高め、意欲を持って過ごす。

- ・春の自然を見つけ、興味を持ったり周りに知らせたりする。

年少・進級への期待を持って過ごす。

- ・春の自然を身体で感じながら遊ぶ。



### ♪今月の歌「はるがきたんだ」

1 はるのかげが ふいてきたら

めだかも ちょうちんも こいたちも

うれしそうに わらうだろう

はるだよ ほくらの はるがきたよ

きたかぜなんか あっちのほうへいっちゃえ

すてきなはるが ほんとに きたんだ わーい!わーい!



### おしらせ

#### ○お別れ会(7日)

卒園者と年中・年少とのお別れ会を行います。年長の保護者の皆様にも参観していただきます。

#### ○制服等販売(7日)

新入園児の物品販売日(14:30~15:30)

#### ○短大卒業式当日の登園(14日)

朝9時から9時30分は、関係者で正門付近が混雑のピークになります。**登園と重なるのを避けるため、朝9時までに登園完了、バスも30分早めて運行とします。降園時刻、バスは通常通りです。**

#### ○第44回卒園式(15日)

卒園児は、保護者とともに9時30分までに登園。当日のバス運行はなし。年少・年中組はお家で卒園のお祝いをしてください。

#### ○第3学期終業式・令和6年度修了式(24日)

通常通り登降園バス運行をします。(午前保育ダイヤ)

### ○令和6年度第3回評価者委員会(報告) [2月実施評価者委員会でのコメントの一部]

〈作品展観賞・保育参観より〉

- ・それぞれの学年の良さが見てわかる。日常生活や遊びの延長だと感じた。年長児は設計図を作って友だちと相談して作っているとこどもから聞いていて、そんなことが年長になるとできるのだと感動した。
- ・子どもの顔が見えるような作品になっていて良い。また、絵の具の色や濃さ等よく考えられている。5歳の絵の中で貼り絵をした後に書き込んでいる絵があったが、貼り絵の割合がひとりだけ少ない子の作品があった。しかし、周りの書き込みには思いを込めていることが伝わってきたため、みんな同じようにさせるのではなく一人一人の個性や良さを認めている教師の指導性を感じ素敵だと思った。

- ・年中・年長のグループ制作非常に良い取り組みである。協同制作は大人になってからでも大変難しい事であり、幼児期に力を合わせる大切さ、素晴らしさを経験することは後の人生に繋がりと感じる。

- ・作品展は、書いたり作ったりすることの表出の場。生活発表会は生活の集大成であり、附属幼稚園は生活発表会が先で、作品展が3学期なのはなぜだろうと疑問に思っていたが、作品作りが、生活発表会のイメージから繋がっていて、更に子ども達の中で共通のイメージの中での作品作りが成されていることが分かった。この時期に作品展をする意味をきちんと先生たちが明確に持っておられることがよく分かった。また、様々な素材選びをはじめ、クラスの子ども一人一人が表出できるように工夫されている。
- ・マラソンでは、ひとりひとりめあてを持ちながら一生懸命取り組んでいる様子が感じられた。短大行事でグラウンドを使用できない日は、継続して取り組めるよう園庭で何か趣向を変えゲーム等みんなでできる事等できればいい。

〈園の今後について〉

- ・満3歳クラス保育を滋賀で先駆けてスタートすることは良いと思う。満3歳を始めるにあたっての園からの話の中で、2歳児親子登園事業も継続していくがそれは満3歳クラスの様子を見ることが出来て、入園したいと思う機会になったり、もちろん各家庭での考え方の違いから一年間親子で来てもらってからの次年度4月入園というのも選んでもらえるとありました。保護者自身がそれぞれのペースで選べる幅があるのはとても良いと思う。

- ・今後も、附属という特性を活かして短大や高校との連携を大切にしていけると良い。生活学科との食の交流も素晴らしい。園の大きな魅力につながる連携を継続して欲しい。